

FAX 回答の場合：本紙のみの送付で可

FAX：029-301-4739

担当：茨城県土木部都市局建築指導課

清水・所あて

調査表番号：

「吹付け石綿（アスベスト）等^{注1}の使用状況調査表」

所有者又は管理者氏名：

連絡者氏名：

連絡先：TEL

FAX

メールアドレス：

【当該建築物の基本情報について】

施設名称 ^{注2}	棟名称 ^{注3}	建物所在地	竣工年月	構造 ^{注4}	延べ床面積（㎡）

【当該建築物の吹付け石綿（アスベスト）等の状況について】

設計図書等での石綿等の有無 ^{注5}	現地調査（目視等）での石綿等の有無	使用箇所及び使用面積（㎡）	使用材料（商品名） ^{注6}	劣化の状況 ^{注7}	備考（今後の対応予定等） ^{注8}

注1）「吹付け石綿（アスベスト）等」とは、「吹付け石綿（アスベスト）」又は「石綿（アスベスト）含有吹付けロックウール」で、室内又は屋外に露出して吹付けがなされているものです。

注2）施設名称には、〇〇事務所、〇〇工場等具体的に記入願います。

注3）棟名称欄には、複数の棟がある場合は、棟ごとの用途を記入願います。

注4）構造欄には、鉄筋コンクリート（RC）、鉄骨鉄筋コンクリート（SRC）、鉄骨（S）等を記入願います。

注5）設計図書等の確認欄は、吹付け石綿等の使用が設計図書等で確認できる場合は「有」、確認できない場合は「無」、設計図書等が無い場合は「不明」と記入願います。（設計図書等がお手元にない場合は、お手数ですが設計事務所等にお問い合わせ願います）

注6）使用材料（商品名）欄は、設計図書等で商品名が判明できる場合は、別添「吹付け石綿（アスベスト）等の調査方法について」を参考に記入願います。

注7）劣化の状況欄には、①毛羽立ち、②繊維のくずれ、③垂れ下がり、④浮き・はがれ、⑤局部的損傷・欠損、⑥層の損傷・欠損、⑦劣化現象がない等、いずれかの番号を記入願います。

注8）備考欄については、今後の対応予定がある場合（吹付けアスベストの除却、建物の解体、専門家による吹付けアスベストの含有調査等）、又は設計図書等により、天井裏など露出していないところで使用していることが判断できる場合は、その旨記入願います。

※なお、現在判明している点のみ記載して頂いて構いません。表のみで回答できない点があれば備考欄にご記入下さい。